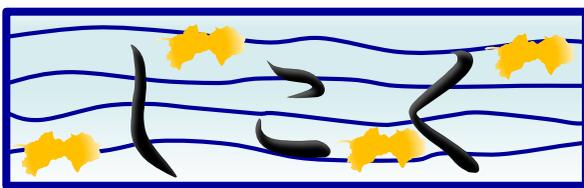


主な記事

記念行事
自候生入隊式
陸曹候補生2次試験

(1面)
(1面)
(2面)



令和5年(2023年)4・5月第181号

旅团长統率方針「万事任務が基準」
旅团长要望事項「実力の進化」「地域との連携」



陸上自衛隊第14旅団広報紙

発行所：第14旅団司令部総務課広報班
住所：香川県善通寺市南町2丁目1-1
電話：0877-62-2311(内2256・2257)
メールアドレス：pr-14b-ma@inet.gsdf.mod.go.jp



模擬戦闘訓練展示

第14旅団創隊17周年
善通寺駐屯地開設73周年記念行事

来場者
約8,800名「地域との連携」

4年ぶりの一般開放

第14旅団(旅团长 大場剛陸将補)は、4月29日、善通寺駐屯地において、第14旅団創隊17周年及び善通寺駐屯地開設73周年記念行事を挙

行した。当日は雨がばらつく場面もあったが、国会議員をはじめ香川県知事、善通寺市長、各地方自治体の長及び各自衛隊協力団体の会長など多くの来賓にご臨席いただくとともに、4年ぶりに

一般公開し約8,800名の来場者で賑わいを見せた。観閲式には、観閲部指揮官(副旅团长 福元洋一 1等陸佐)以下人員900名、車両150両、航空機4機が参加し

式辞において大場旅团长は、「第14旅団は、『四国の護りの要』であり、また、機動旅団として我が国の抑止・対処の中核を担う我々は、地域の皆様から信頼され、国民の負託にこたえられる強い部隊でなければならぬ。隊員たちを側で支えていただいているご家族の皆様、我々を応援してくださるご来場の皆様、旅団は全員が一丸となり、全力で職務に邁進する所存であり、今後とも我々を叱咤激励していただきたい。」と述べた。

等旅団の主要装備を駆使した模擬戦闘訓練を行った。そのほか、各種装備品展示、子供広場、レンジャー特技者による訓練展示及びロープ訓練体験等、各種イベントを実施し、来場した方々は4年ぶりとなる駐屯地を楽しんだ。



観閲行進



観閲式(式辞)

HP等においても
記念行事の写真をUPしています📷

QR codes for HP, Twitter, and Facebook.

HP 14りよだん | Twitter | Facebook | Checkō☆



国防女子入隊式の実施

国防男子

第14旅団は、4月9日、善通寺駐屯地(香川県)及び高知駐屯地(高知県)において、令和5年度自衛官候補生入隊式を行った。

第15即応機動連隊(連隊長 徳淵文雄 1等陸佐)では、女性8名を含む約50名が、

第50普通科連隊(連隊長 山内和也 1等陸佐)では、女性4名を含む約30名が真新しい制服に身を包み、自衛官として初めての儀式である入隊式に臨んだ。

宣誓を行った約80名の新隊員は、今後の3ヶ月において自衛官としての基礎を学んでゆく。

次のStepへ

陸曹候補生2次試験

練成の成果を十分に発揮

第14旅団は、4月上旬、普通寺駐屯地において、令和5年度前期陸曹候補生等選抜2次試験を実施した。

本試験は、旅団最優先上級曹長(原清悟准陸尉)をはじめ、旅団直轄部隊の最優先上級曹長が試験官となり、口述試験、術科試験(分隊教練

及び戦闘戦技)及び体力検定を行った。

1次試験に合格した30名の隊員は、陸曹候補生の指定を受けるべく、上司や先輩から受けた指導を精一杯出し切り、各試験を終えた。



分隊教練



面接

令和4年度 旅団ナンバーワン戦士 決定

<p>小銃射撃【准曹の部】</p> <p>第15即応機動連隊</p> <p>2等陸曹 山崎 昭</p> <p>射撃検定：特級/95% (命中率) 体力検定：1級/289点</p>	
<p>小銃射撃【陸士の部】</p> <p>第14施設隊</p> <p>1等陸士 藤田 夢芽</p> <p>射撃検定：準特級/88% (得点率) 体力検定：1級/293点</p>	

第14旅団は、各種検定(体力・格闘・救急法)を高い基準で合格し、かつ各射撃のトップとなった戦技優秀隊員を令和4年度「旅団ナンバーワン戦士」として認定した。

令和4年度は、小銃射撃【准曹の部】で、第15即応機動連隊の山崎2曹が、「陸士の部」で、第14施設隊の藤田1士が認定された。

認定された隊員は、旅団長より褒賞メダルが贈呈されるとともに、旅団司令部正面玄関及び普通寺駐屯地厚生センター前掲示板に顕彰された。

第50普通科連隊

大きな希望を胸に 約30名が着隊

第50普通科連隊(連隊長 山内和也1等陸佐)は、今春、高知県、愛媛県の両県から約30名の自衛官候補生を受け入れ、令和5年度自衛官候補生課程教育(教育隊長 吉川浩2等陸佐)を開始した。

新隊員は、高知駐屯地に到着後、営内班長に迎えられ、共に教育を受ける仲間と顔を合わせた。初めての環境で緊張した表情を浮かべながらも、同期同士で自己紹介を交わし、自衛官への第一歩を踏み出した。

着隊後は速やかに被服の受領や駐屯地施設の説明受けを終了し、副教育隊長による精神教育や営内生活における躰教育等を受けた。これから約3ヶ月間の教育を経て、自衛官としての基礎を学んでいく。



半長靴の試着



躰教育



施設説明を受ける隊員

第50普通科連隊は、彼らの成長の様子をツイッターにて逐次掲載していきます。お楽しみに♪

高知駐屯地公式 Twitter



フォロー お願いします♪



@JgsdfKochi

防衛モニター及びオピニオンリーダー終了・委嘱式

防衛省・自衛隊に対する理解促進を依頼



旅団長から委嘱状を伝達される委嘱者

第14旅団は、4月23日、普通寺駐屯地において、防衛モニター及びオピニオンリーダー終了・委嘱式を実施した。

大場旅団長より、オピニオンリーダー終了者1名に対し感謝状をお渡しし、これまでの功績に感謝をお伝えするとともに、委嘱者6名に対し委嘱状を伝達しモニター及びオピニオンリーダーとしての情報発信等を依頼した。

参加者には、終了・委嘱式のち、旅団の主要装備品研修や推薦部隊長等との会食を行い、自衛隊を身近に感じてもらうとともに理解を深めていただ

第15即応機動連隊 練度の維持・向上を目的に訓練を実施

連隊野営訓練



MCVによる射撃(機動戦闘車隊)



集団装薬の爆破訓練(本部管理中隊)



81mm迫撃砲の操作訓練(普通科中隊)

機動戦闘車隊は、105mm砲(MCV)の射撃訓練を実施し、精密な射撃を行う能力を向上させた。

本部管理中隊は、各種爆破訓練を実施し、安全かつ迅速な爆破作業能力を向上させた。

普通科中隊は、81mm迫撃砲の操作訓練や地区判読訓練、防衛訓練など部隊全体の防衛能力を向上させることが出来た。

火力支援中隊は、安全を重視し、120mm迫撃砲の慎重かつ確実な射撃を行った。



120mm迫撃砲による射撃(火力支援中隊)

中部方面特科隊

隊戦技競技会

中部方面特科隊(隊長 細川香宣1等陸佐)は、3月下旬、松山駐屯地において、第14高射特科隊の参加を得て、「令和4年度らっぱ競技会」及び「令和4年度炊事競技会」を実施した。

また、4月上旬、松山駐屯地、小野演習場(愛媛県)等において、「令和5年度隊戦技競技会(戦砲隊・砲班、前進観測班及び通信)」を実施した。

本競技会では、第15即応機動連隊、第50普通科連隊、第14偵察隊、第10特科連隊及び第3特科隊の選手が一部競技に参加し、各部隊の切磋琢磨により個人及び班以下の戦闘戦技能力を向上させた。隊は本競技会で得た成果・教訓を今後の練成訓練に反映し、更なる部隊の練度向上を図っていく。



戦砲隊・砲班競技会



前進観測班競技会



射撃指揮競技会



炊事競技会



通信競技会



らっぱ競技会

第14偵察隊

空路潜入技術の練度向上

第14偵察隊(隊長 堀慎也2等陸佐)は、5月上旬、善通寺駐屯地及び国分台演習場(香川県)において、空路潜入訓練を実施した。



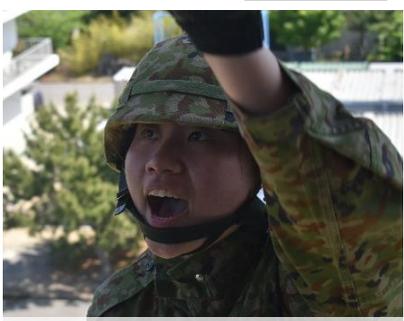
実機からのリペリング(夜間)

本訓練は、航空機からのリペリング、オートバイ搭載等の練度向上を目的に行った。

当初、指導部の練成訓練として、ロープ構成要領及び安全管理について徹底するとともに、実技により着眼を確認・共有する等、指導能力の向上を図った。

訓練は、駐屯地内のレンジヤータ・展示用航空機を活用した準備訓練と国分台演習場における第14飛行隊と協同した実機による訓練に区分して実施した。

レンジヤータにおいては、登坂壁における懸垂降下及び低所高所からのリペリングを昼間・夜間に装備品を持たない状態から銃・背の携行と段階的に実施した。



女性も臆することなし!

また、展示用航空機を活用しオートバイの搭載要領を練成して、空路潜入における基礎的な技術を修得した。

また、国分台演習場においては、第14飛行隊の航空機(UH-1)から暗視装置を用いてリペリングを実施し、昼夜を問わず敵地に潜入する能力を向上した。

本訓練には、昨年度に配置された女性隊員2名も参加し、偵察隊員として必要な技術を向上させた。



指導部練成



レンジヤータでの訓練(武装)

令和5年度春季演習場整備

第14旅団は、4月中旬、第4施設団が担任する令和5年度方面隊統制演習場(日本原)春季整備に参加し、第14旅団整備隊(隊長 細川香宣1等陸佐)約560名により、訓練基盤の維持・拡充を図るとともに、演習場の長期安定使用及び訓練環境の構築に寄与した。

より良い演習場へ

第14施設隊

第14施設隊(隊長 吉田正幸2等陸佐)は、作業隊長(菊池隼人1等陸尉)の指揮のもと、本部班、施設器材班、伐採木処理班及びダンブ班を編成し、主として演習場の機能向上を目的とした81mm迫撃砲射座の新設整備を昨年にも引き続き実施するとともに、機能維持を目的とした西停弾堤及び中央停弾堤の整備を実施した。

また、本部班においては、各作業班と密接な連携を図り、工事の工程管理及び器材の燃



停弾堤整備

料調整を適切に実施し、任務達成に寄与した。

隊員は、本整備を訓練の一環として捉え、各種施設技術及び器材操作の練度向上を図った。

今回初参加した谷田士長は、「思った以上に機械の操作がうまくいかず、筋肉痛になりました。」

同じく初参加の藤田1士は、「僕は、斜面の草刈りが苦手で、すぐに疲れてしまいました。先輩はスイスイ草を刈って行くのを見て、経験はやっぱり嘘をつかないんだなと思いました。」と苦笑いで答えた。

第14情報隊

第14情報隊(隊長 甲斐清博2等陸佐)は、演習場整備において、少人数かつ未経験者が多くいる中においても、期間内に整備を完了した。

草刈りのご用命なら情報隊へ!



草刈り

第14後方支援隊

第14後方支援隊(隊長 佐藤欣央1等陸佐)は、演習場整備において、洗濯、燃料、入浴、炊事等の後方、衛生支援により演習場整備の目的である訓練基盤の維持・拡充に寄与するとともに各種支援能力の向上を図った。



入浴支援

演習場整備参加者を全力でサポート

表彰

■日本原整備隊長表彰者

第15即応機動連隊 陸士長 渡辺 辰丸

第50普通科連隊 3等陸曹 田上 博士

第14後方支援隊 1等陸士 東 航汰

第14施設隊 陸士長 野田 祐哉

中部方面特科隊 陸士長 花山 龍太

■第14旅団整備隊長表彰部隊

整備支援隊(第14後方支援隊) 全股支援整備隊(第14施設隊)

■第14旅団整備隊長表彰者

第15即応機動連隊 陸士長 真鍋 広道

陸士長 島 陣太郎

陸士長 越智 太陽

陸士長 岩村 直樹

陸士長 濱田 蒼

陸士長 伊藤 甲斐

陸士長 吉川 諒亮

中部方面特科隊 1等陸曹 向居 崇充

陸士長 松岡 快青

陸士長 泉 真之

3等陸曹 濱田 智久

3等陸曹 演田 伊誠

陸士長 今岡 稜都

第14後方支援隊 3等陸曹 曾我 晴貴

陸士長 山田 悠真

第14偵察隊 陸士長 藤原 悠真

第14情報隊 陸士長 谷田 拓海

第14高射特科隊 2等陸曹 白田 翔

第14飛行隊 陸士長 種市 夢翔

第14施設隊 2等陸曹 細川 亮介

第14特殊武器防護隊 陸士長 沖本 拓己

第14通信隊



隠せ！騙せ！隊訓練

第14通信隊(隊長 小野田 怜2等陸佐)は、4月中旬、国分台演習場(香川県)において令和5年度隊訓練を実施した。

本訓練は、班や組といった少人数のチームによる作戦行動を焦点にした訓練であり、特に秘匿、分散、欺へん、防護を重視して、夜間の行動や陣地変換を主に練成した。

夜間において声や音光を出さずに通信所を開設する要領や、施設を地形に溶け込ませ、空地からの発見を困難にする偽装の要領等を各小隊ごと創意を尽く



車両の偽装を行う隊員

隊長は、「想定していたものより良い形になった」と満足げ。最終日には、臨時に編成した隊本部炊事班により美味しい牛丼がふるまわれ、訓練に疲れた隊員たちは思わず顔をほころばせた。

して訓練した。

第14高射特科隊



射撃準備

小隊訓練

第14高射特科隊(隊長 鶴ヶ野 翔太2等陸佐)は、4月中旬、小野演習場(愛媛県)において令和5年度小隊訓練を実施した。

本訓練は、高射特科隊の基本的な行動を主要演習項目として、状況下での陣地の占領及び対空戦闘における小隊内の連携動作について演習した。この際、隊本部の特技保有者を指導部として活用することにより訓練効果の最大化を図った。

訓練においては、当初駐屯地で図上予行を実施し、イメージアップを図った後、小野演習場へ前進した。

訓練間、小隊長の命令下達から陣地偵察・占領間における指揮要領及び各班長



地点指示

の陣地占領間における指揮要領を重視して実施した。また、状況間、陣地偵察監視・射撃準備、築城・偽装、陣地変換及び警戒等の部隊の基本的行動並びに隊員の基礎動作を重視して訓練し、野外行動能力及び対空戦闘能力を向上させ、じ後の訓練の資を得た。

小隊訓練 第14特殊武器防護隊



地域除染(経路の除染)



偵察訓練(試料採取)



偵察訓練(監視器材の設置)

第14特殊武器防護隊(隊長 西原 清隆3等陸佐)は、4月上旬、国分台演習場(香川県)において、令和5年度隊訓練を実施した。

本訓練は、今年度受閲予定の旅団検閲を見据えた練成訓練であり、主に偵察訓練及び除染訓練を行った。

訓練参加者の中には、新編成に伴う初めての班行動や初めての四国の演習場での訓練と慣れない環境に苦労している隊員もいたが、本訓練を通じて各人の練度向上及び班・小隊の連携を図り、任務達成に必要な技術及び識能を向上させた。

第14旅団司令部付隊(隊長 菅貴光3等陸佐)は、4月29日善通寺駐屯地において「第14旅団創立17周年及び善通寺駐屯地開設73周年記念行事」に参加した。第14旅団司令部付隊約100名は、旅団司令部を支援する任務を達成するため、行事実行に係る各部の支援を全隊員で行うとともに、式典においては旅団長旗手、国旗衛隊の要職を拝命し、威容を示した。また、来場者に対しては「おもてなしの心」を持って接し、駐屯地及び旅団に対する信頼感の醸成に寄与した。

第14旅団司令部付隊は、今後も旅団司令部の任務達成に寄与できる隊員を育成し、任務遂行に邁進する。

第14飛行隊

ドアガン実射訓練

第14飛行隊(隊長 福重誠啓2等陸佐)は、4月上旬、日本原演習場(岡山県)においてドアガン実射訓練を担当・実施した。

本訓練は、第15即応機動連隊、第50普通科連隊及び第14飛行隊の射手9名による地上接地(飛行していない)状態のヘリコプターからの機関銃射撃練度向上並びに機内における操縦士、整備員及び射手との連携要領を確立することを目的に訓練を実施した。

本訓練において、射手全員が合格基準に達するとともに射手の意見を踏まえ、実戦的な機内の連携要領を確立できた。

次回以降は、飛行中のヘリコプターからの射撃練度の向上を目的として、国分台演習場(香川県)及び佐多対空射場(鹿児島県)で訓練を実施する予定である。



訓練風景



旅団長旗手



観閲行進



観閲部隊指揮官操縦手



国旗旗衛隊

記念行事において

第14旅団司令部付隊

地域のイベントに参加し、自衛隊の魅力を発信

第14音楽隊



パレード演奏の様子



広報演奏の様子

第14音楽隊(隊長 中 福島昭洋2等陸尉)は、5月3日、丸亀お城まつり協賛会(香川県丸亀市)主催の「丸亀お城まつり」を支援した。

当日は、「まんてがんだん大行進」に参加してパレード演奏を行うとともに、会場特設ステージで広報演奏を行った。

丸亀市のシンボルである丸亀城を中心に例年多数の団体が参加する当イベントで、自衛隊らしい統制の取れた行進を披露するとともに、若年層に人気の「ダンスホール」-「Me!a!」などを演奏し、小さな子供からお年寄りまで多くの方に自衛隊の魅力をアピールすることができた。

旅団の目になるため、努力惜しまず!

第14旅団に存在する各職種のプロにスポットを当てた新コーナー「キーマン」。今回は旅団の耳目ともいえる「第14情報隊」に所属している野村3曹にスポットを当てていきます。

野村3曹は、ものすごく真面目で配りがよくできる人で、普段は補給陸曹として、宿営用天幕、土木器材の管理・維持を行う他、調達等の業務も行っており、部隊運営に必要な物品の購入等、日々の業務に邁進しています。隊員達が毎日の生活又は演習等で快適に過ごせているのは、間違いなく野村3曹のおかげだと思えます。

機体の発進時、エンジン始動から各種装置の点検及び目視確認等を実施し、最後に発射ボタンを押すという、プレッシャーの中で最後までやり遂げられるのは、旺盛な責任感と使命感が彼を動かしているんだと思います。

竹内1尉

■ 野村3曹に聞きました!
日頃どのようなお仕事をされていますか?

第14情報隊無人偵察機班で勤務し今、注目のスクランイーグルの整備員として勤務しています。飛行前、飛行後の各種装置の点検整備を実施します。主に機体を見ますが、その他に発進装置や、回収装置等の器材も合わせて点検整備をしています。

■ 周りの人に聞きました!
野村3曹はどんな人ですか?



第14情報隊
野村 元生(のむら げんき) 3等陸曹
福岡県出身
好きな食べ物 : アクアパッツァ

現在、スクランイーグルの整備員の資格を取るには、国内教育ではなく、アメリカ又はオーストラリアへ留学し約2カ月教育を受ける資格を取得します。自衛隊として海外留学できる教育は珍しく、とても貴重な経験ができたと思います。と笑顔で答えてくれた。

隊員家族投稿

「父ちゃんとスキー」

第14旅団司令部付隊

陸曹長 副島 克己(単身赴任中)
息子 琥二朗くん(旭川在住)

父ちゃんはスキーの先生です。旭川に住んでるけど、いまは香川県にいます。たまに帰ってきます。お土産いっぱいあります。

父ちゃんはスキーに連れて行ってくれます。父ちゃんはナイタースキーだと肉まんを買ってくれるから好きです。じゃんけんも勝つとピザまんも買ってくれます。ナイターはマイナス20度だからすごく冷えます。夜景を見ながらたべるスキー場肉まんは最高です。父ちゃんは香川にいるからいつもラインで電話します。何してんの? って聞くといつも「仕事」って言ってます。早くおこづかいちょうだい。



人事往来

転出



陸上幕僚監部人事教育部
(第14旅団司令部)
1等陸佐 佐々木 久史

令和5年4月26日付

部内・外表彰

部内

部外

- 令和4年度補助担架員集合訓練
【第15即応機動連隊長賞】
中部方面特科隊
3等陸曹 田辺 仁
- 第85期陸曹普通英語課程
【情報学校第2教育部長賞】
第14高射特科隊
3等陸曹 帆足 秀吾
- 第13期陸曹中級課程
【中部方面総監賞】
中部方面特科隊
2等陸曹 菅 真弘
- 第52期幹部通信システム課程
【第1教育部長賞】
第14通信隊
2等陸尉 小谷 祥平
- 第22期水陸両用基本訓練課程
【水陸機動教育隊長賞】
第15即応機動連隊長賞
3等陸曹 湯浅 良太
- 第142期陸曹候補生課程
(支援助教)
【第4陸曹教育隊長賞】
第15即応機動連隊長賞
3等陸曹 上屋敷貴志
- 三軒屋駐屯地警備支援
【勤務優秀賞】
第15即応機動連隊長賞
3等陸曹 山下 凌平
- 第115期初級陸曹部隊弾薬課程
【教育部長賞】
中部方面特科隊
3等陸曹 市川 大作
- 男子52回香川駅伝競走大会
【第4位】(記録1時間23分46秒)
第15即応機動連隊長賞
1区 陸士長 立石 拓海
2区 3等陸曹 木原 正博
3区 陸曹長 渡部 和幸
4区 陸士長 新居 基季
5区 3等陸曹 赤瀬 譲
6区 3等陸曹 赤瀬 聡
- 第29回坂出天狗マラソン大会
(15km男子40歳代)
【第1位】(記録51分05秒)
第15即応機動連隊長賞
陸曹長 渡部 和幸
- 第4回四国銃剣道大会土佐黒潮杯
【優勝】(個人戦 陸士1任期未満の部)
第15即応機動連隊長賞
陸士長 藤野 和貴
- 【第3位】(個人戦 陸士1任期未満の部)
第15即応機動連隊長賞
陸士長 山下 俊介
- 令和5年度香川県軟式野球連盟
普通寺支部長杯争奪軟式野球大会
【準優勝】
第14偵察隊野球部「魁」
代表 3等陸曹 松岡 健悟他20名
- 男子67回全日本銃剣道優勝大会
【準優勝】(防衛省第2部)
松山駐屯地チーム
先鋒 3等陸曹 川上 立祥
次鋒 3等陸曹 市川 大作
中堅 3等陸曹 白石 尚也
副将 3等陸曹 田中 将
大将兼監督 2等陸曹 竹村 知剛
- 男子52回愛媛県空手道選手権大会
(個人戦 一般男子 組手の部)
【準優勝】
第14高射特科隊長賞
3等陸曹 赤穂 賢伍



陸上自衛隊 第14旅団
逐次発信中!



陸上自衛隊
広報チャンネル



陸上自衛隊広報チャンネル
(YouTube)に
「自衛隊式感染症予防」
を掲載中!